

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

No. 5-9(219)

令和5年10月20日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

旭小学校で「ソバ植え」体験



ソバ実の植え付け



防鳥ネット張り



ソバ植えの参加者

旭小学校では9月17日（日）に芹ヶ野地区の畑でソバを植えました。

「うね」作りはボランティアの方が耕運機やクワで準備しました。子どもたちは「うね」の溝にソバの実を均等にまいていきました。多くのボランティアの方々が参加され、ソバの実をまいた後の「土かぶせ」や「防鳥ネット」の張り付けをして頂きました。令和2年度に鳥に実を食べられ、ソバを収穫できなかったため、以後は対策として防鳥ネットを設置しています。

11月には収穫し、地区交流センターにて販売し、まちづくり協議会の活動費に充てられるとの事です。子どもたちもたくさんソバが採れることを期待しています。

実りの秋！照島小学校で「かかし」立て



「かかし」の杭立て



「かかし」の杭への取り付け

秋の実りの季節。たくさんお米が採れるよう、照島小学校では9月7日（木）に「学習田」で鳥よけの「かかし」を立てました。

「かかし」は6体作り、5年生がグループごとに制作しました。「かかし」の名前は「ぼうちゃん」、「ぶたきん」、「よし子」、「レッド」、「ゴッド」等のユニークな名前が付けられていました。



暑さをさげ、水路に足をつける子どもたち

「かかし」立ては、米作り協力会11名の方と一緒に設置しました。米作り協力会の前田さんが、稲の光合成と穂の垂れ方、デンプンの蓄えとモミとの関係、鳥害と「かかし」を立てる時期との関係を、分かりやすく説明されました。お米は、実るまで88回の手間があるそうです。子どもたちは、お米の成長とおいしいお米作り方を学び、有意義な時間を過ごしました。

エルニーニョが連れてきた猛暑の中、米作り協力会の皆様、保護者の皆様、子どもたちの支援ありがとうございました。

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課
 (TEL 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
 地域学校支援コーディネーター (有元 操・藤崎 裕史)

* 本応援だよりは右のQRコードを読み取り、カラー版でご覧頂けます。
 市立図書館（本館）掲示板にも張り出しております。

